

≡ プレスリリース ≡

報道関係者各位

2019年1月
株式会社スクウェイブ
社長室 広報担当

情報システム子会社を含む IT サービス提供企業(Sler)の 経営状況並びに実力を総合評価するベンチマークサービス 「SLR-View SI」の提供を開始しました

IT 業務の可視化を得意とする株式会社スクウェイブ(所在地:東京都港区、代表取締役:黒須豊)は、「SLR-View SI」(<https://www.k2wave.com/slr/service.html>)の提供を開始しました。スクウェイブのSLRシリーズは、比較対象となる社名を公開し、比較する上での指標内部ロジックまで公開するという画期的なモデルとして好評を得て、これまでに 100 社超の国内大手企業が参加しています(参加企業一覧:<https://www.k2wave.com/slr/certificate.html>)。

常にグループ企業内のバランスの中で事業を成立させる必要に迫られる情報子会社等。その経営陣の課題の一つは、自社の行動が概ね妥当であり、グループ内の戦略または市場の方向性に対して適切な実力を有していることを内外に示すことです。SLR-View SI は、この課題解決のために「経営状況」、「実行能力」、「人材」の3つの観点で他社比較することによって、自社のポジションを明らかにすると共に、理想的な改善指針を得ることができます。併せて実行能力の結果である「品質」についても同様に追究します。

一般的には極めて高額となるベンチマークサービスですが、SLR-View SI は 2019 年 3 月末まで 250 万円と比較的導入しやすい価格としています(先着 20 社限定、税別)。



単なる俯瞰的な調査結果ではなく、専門家による個別提言

自社ポジションの明確化と
個別具体的な改善目標の導出



【情報システム子会社を含む IT サービス提供企業(SIer)の課題】

課題例	考えられる要因例
経営状況 <ul style="list-style-type: none"> ■ 利益率が上がらない ■ 外販力に乏しい ■ 付加価値が提供できていない 	SE単価、稼働率、管理費用、人的資源 営業力、マネジメント力、技術力、市場性 研究開発費、業務知識、技術力
実行能力 <ul style="list-style-type: none"> ■ 品質が向上できない ■ 生産性が向上できない ■ 協力会社が見つからない 	品質保証組織、マネジメント力、技術力、育成、認証 組織力、技術力、キャリアパス、資格 仕事内容、単価、期間、契約条件、技術力、市場性
人材採用、育成 <ul style="list-style-type: none"> ■ モチベーションがあがらない ■ 離職率が高い ■ 採用充足率が低い 	マネジメント力、組織力、制度待遇、人的資源 仕事内容、キャリアパス、モチベーション 採用戦略、採用手法、制度待遇、キャリアパス

ここでは、情報システム子会社に共通するであろう課題を例として挙げている。これ以外にも、各社固有の課題が考えられる。また、共通的な課題であっても、それを引き起こしている要因は各社の事情によっても異なっている。各社は、課題に影響を与えているであろう要因について、その影響度を見極め、優先順位をつけて対応する必要がある。

【SLR-View SI の分析視点】

情報システム子会社を含む IT サービス提供企業(SIer)の多くは、要員を中心とした労働集約型のビジネスモデルとなっています。人材とその組織運営が企業活動の根幹を支えているため、SLR-View SI では、これらの経営面、人材面、協力会社を含む組織面について分析し、対応策を提言いたします。

<経営状況>

売上、費用、利益について、収支を可視化し、主に役務に関する単価や稼働率に関して経営面として比較します。

<実行能力>

組織体制と要員構成、社員と協力会社の役割を可視化し、要員の状況を組織面として比較します。その結果としての品質についても分析します。

<人材>

各社の採用と育成、働き方改革について、採用人数、採用充足率、採用手法年齢構成、取得資格、研修費、働き方改革への取り組みとその達成状況について、人材面として比較します。

【SLR-View SI 導入のメリット】

- 情報子会社または SIer の経営状況、実行能力、人材状況について他社と比較することによって、明確な立ち位置が可視化されます。
- 可視化された自社の状況から今後の戦略の方向性を適切に再設定することができます。
- 親会社を含めたステークホルダーに対して必要な説明責任を果たす上での客観的な情報を得ることができます。
- 他社との比較から目指すべき具体的な目標値を設定することができます。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社スクウェイブ 社長室 広報担当 E-mail: reception@k2wave.com

※本プレスリリース記載の情報は発表時点の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

以上